

薬物乱用だめ 大学生が講義

国泰寺高

公益財団法人麻薬・

覚せい剤乱用防止センター(東京)の講師認定を受けた広島国際学院大の学生による薬物乱用防止教室が11日、広島市中区の国泰寺高であった。同高2年の約320人が受講した。

中国から同大に留学している4年苗慧さん(31)たち3人がパネルを示し、脳細胞を破壊させる薬物乱用の恐ろしさを説明した。苗さんは「脱法ハーブなど新たな薬物がまん延している。断る勇気を持つて」と呼び掛けた。

広島フェニックスライオンズクラブ(中区)が企画した。同クラブと同センター、同大は2009年に協定を結び、これまで学生約20人を薬物乱用防止教室の講師に認定している。